

文化芸術交流事業に必要な経費

文化事業費

1. 人物交流事業費

- (1) 文化人・グループ短期招へい

2. 人物交流事業費（日中交流特別事業）

- (1) 21世紀日中交流特別事業（人物交流・招へい）

3. 催し等事業費

- (1) 日本紹介のための文化人派遣（主催）
- (2) 日本紹介のための文化人派遣（助成）

4. 催し等事業費（日中交流特別事業）

- (1) 21世紀日中交流特別事業（催し・主催）
- (2) 21世紀日中交流特別事業（催し・助成）

5. 文化資料事業費（日中交流特別事業）

- (1) 21世紀日中交流特別事業（文化資料）

文化事業費

1. 人物交流事業費 (1)文化人・グループ短期招へい

海外の文化の諸分野において指導的立場にある者、日本と当該国の文化交流の上で貢献が期待できる者を招へいし、日本の実情視察、日本側文化人、関係分野の専門家等との意見交換などの機会を提供する。

合計額 50,557,319円

	氏名	現職	国	期間	事業内容
1	SARUMPAET, Ratna	ジャカルタ・アーツ・カウンシル代表	インドネシア	05.03.30～ 05.04.14	舞台芸術関係者との意見交換、日本文化体験等の機会を提供
2	TOHA-SARUMPAET, Riris	インドネシア文学者協会会長	インドネシア	06.01.23～ 06.02.04	児童文学関係者等と意見交換、日本文化体験等の機会を提供
3	VARAVARN, Kasama	タイ教育省事務次官	タイ	06.02.10～ 06.02.18	教育関係者等との意見交換、小・中学校等教育機関の視察、日本文化体験の機会を提供
4	PHAM THI, Thanh	ベトナム文化研究保存開発研究センター副所長	ベトナム	05.08.19～ 05.09.02	日本の能、歌舞伎関係者と面会し、日本の伝統文化を調査、日本文化体験等の機会を提供
5	TRUONG, Hoang Chuong	ベトナム文化研究保存開発研究センター所長	ベトナム	05.08.19～ 05.09.02	日本の能、歌舞伎関係者と面会し、日本の伝統文化を調査、日本文化体験等の機会を提供
6	LE, Tung Minh	アンザン省人民委員会副委員長	ベトナム	06.03.07～ 06.03.21	文化、教育、農業技術・研究関係者と面談、日本文化体験等の機会を提供
7	OTA, Simadri Bihari	インド考古学調査庁主任調査官	インド	06.03.31～ 06.04.13	文化財関係者、環境行政関係者、考古学者、街づくり関係者等との意見交換、日本文化体験等の機会を提供
8	HUSSAIN, Agha Masood	リーダーズ・パブリケーションズ編集長	パキスタン	05.10.16～ 05.10.29	国際問題研究者等と意見交換、講演会の実施、日本文化体験等の機会を提供
9	IMAM, Ali	バングラデシュ国営放送ゼネラルマネージャー	バングラデシュ	05.10.01～ 05.10.15	放送局等訪問、日本文化体験等の機会を提供
10	WHITE, Te Taru	ニュージーランド博物館テ・パパ マオリ・リーダー	ニュージーランド	06.03.26～ 06.04.02	博物館関係者との意見交換、日本文化体験等の機会を提供
11	TAYLOR, Geoffrey E.	トロント国際作家祭ディレクター	カナダ	05.11.06～ 05.11.20	編集者、作家等の文学関係者と意見交換、日本文化体験等の機会を提供
12	ASHIDA CUETO, Carlos	カリージョ・ヒル現代美術館館長	メキシコ	05.10.16～ 05.10.30	美術関係者との意見交換、日本文化体験等の機会を提供

	氏名	現職	国	期間	事業内容
13	MONTEIRO LORENCATO, Arnaldo Marcilio	アブリル出版社 ヴェージャ/食 文化評論家	ブラジル	05.11.06～ 05.11.30	食文化専門家との意見交換、現代日本の食文化・ 食習慣を視察する機会を提供
14	UPTON, Graham	オックスフォード・ブルックス 大学副学長	英国	06.01.16～ 06.01.27	教育行政関係者、大学関係者との意見交換、日本 文化体験等の機会を提供
15	GRAESSLIN, Karola	ブラウンシュバ イク美術連盟館 長	ドイツ	05.03.20～ 05.04.01	現代美術館関係者・作家との交流、プロジェクト 企画相談、日本文化・美術視察の機会を提供
16	WOLFF, Francis Dider	パリ高等師範学 校哲学科主任教 授	フランス	05.10.25～ 05.11.06	哲学研究者との意見交換、ワークサロン参加、京 都・奈良での日本文化体験等の機会を提供
17	FAYZULLAEV, Alisher Amanullaevich	世界経済外交大 学第一副学長	ウズベキスタ ン	05.09.14～ 05.10.28	心理学および政治学研究者との意見交換、講演会 の実施、京都・奈良での日本文化体験等の機会を 提供
18	AUEZOV, Murat Mukhtarovich	カザフスタン国 立図書館館長	カザフスタン	05.10.01～ 05.10.14	文学関係者や平和運動関係者、中央アジア研究者 等との意見交換を行ない、広島・京都・奈良での 日本文化体験等の機会を提供
19	BUCIU, Dan	ブカレスト国立 音楽大学学長	ルーマニア	05.09.09～ 05.09.23	音楽関係者との意見交換、日本文化体験等の機会 を提供
20	PELEVIN, Viktor	作家	ロシア	05.03.20～ 05.04.03	文学関係者等と意見交換、日本文化体験等の機会 を提供
21	BARMAK, Siddig	バルマック フィルム/映画 監督	アフガニスタ ン	05.08.17～ 05.08.29	映画関係者との意見交換、アフガニスタン支援団 体との交流、京都・奈良での日本文化体験等の機 会を提供
22	REZOK, Souad	文化省芸術局局 長	モロッコ	05.10.10～ 05.10.25	日本における芸術教育制度の視察、文化関係者との 意見交換、日本文化体験等の機会を提供
23	MAAS, Michael, George	アート・スケー プ劇場C.E.O	南アフリカ	06.02.09～ 06.02.23	舞台芸術関係者との意見交換、日本文化体験等の 機会を提供
24	TEMBE, Joel Mauricio das Neves	モザンビーク国 立歴史資料館館 長	モザンビーク	05.11.28～ 05.12.12	歴史資料保存専門家との意見交換、モザンビーク 支援団体との交流、講演会の実施、日本文化体験 等の機会を提供

文化事業費

2. 人物交流事業費（日中交流特別事業）	(1)21世紀日中交流特別事業（人物交流・招へい）
----------------------	---------------------------

従来、日本研究や日中文化交流に関わりのなかった中国の文化人・知識人などを日本に招へいすることにより、中国において新たな日本への関心と友好意識の促進を図る。

合計額 14,483,905円

	氏名	現職	期間	受入団体	事業内容
1	馬蘭	黄梅劇女優/ 演出家	05.07.19～ 05.07.29		黄梅劇の著名な演出家・女優である馬蘭を招へいし、今後の日中文化交流について意見交換を行なった。また日本の演劇関係者との面談や劇場見学などを通し、日本文化に対する理解を深める機会を提供
2	曹秀栄 史曉成 毕霞 趙昌林 ト冬梅 遲英杰 曾琰 靳飛	天津市政治協 商会議副主席 天津市政治協 商会議副秘書 長 天津市政治協 商会議事務局 長 天津市政治協 商会議委員 天津市政治協 商会議委員 天津市政治協 商会議委員 天津市政治協 商会議国際交 流中心主任 天津市政治協 商会議委員	05.10.16～ 05.09.26		天津市政治協商会議副主席ほか7名を招へいし、日中交流団体や天津市との交流事業を実施している地方自治体を訪問、人的ネットワーク形成の一助とした
3	王效賢	中日友好協会 副会長	05.09.23～ 05.09.30		歴代中国指導者の通訳を務め、日中国交正常化当時の現場を支えた人物の一人である王效賢を招へいし、同女史の半世紀を越える体験を講演会などを通して語る機会を提供した。また関係者と日中文化交流に関して意見交換を行なうと共に、日本の社会・文化の状況を視察

	氏名	現職	期間	受入団体	事業内容
4	于基汾 汪永茂 朱邦泰 項曉寧 馬志剛 朱紅 雷淑容 朱愛根	南京市政治協 商會議副主席 南京市政治協 商會議副秘書 長 南京市對外文 化交流協會副 會長 南京日報報業 集團編集委員 南京市對外文 化交流協會副 秘書長 南京電視台新 聞中心制片人 揚子晚報社特 約記者 南京市政治外 事主任科員	05.12.15～ 05.12.22		南京市政治協商會議に所属するジャーナリストを招へいし、国内メディア関係者との活発な意見交換を行なった。また、国内各地を訪問し、日本社会の現状を直接体験する機会を提供

3. 催し等事業費	(1) 日本紹介のための文化人派遣（主催）
-----------	-----------------------

海外に日本の文化人やスポーツ専門家を派遣し、日本文化紹介のための講演、デモンストレーション、指導、セミナー、ワークショップなどを行なう（音楽・演劇・舞踊・民俗芸能など公演事業は除く）。

合計額 92,969,397円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	宮内 信江	いけばな宮内流 家元	ベトナム	05.12.05～ 05.12.17	在ベトナム大使 館/在ホーチミ ン総領事館	ダラット・フラワーフェスティ バル等において生花のレク チャーおよびデモンストレー ションを実施
2	竹内 孝次	テレコムアニ メーションフィ ルム代表取締役 社長	シンガポール /ブルネイ/ベ トナム/マ レーシア	05.11.17～ 05.12.03	在シンガポール 大使館/在ブル ネイ大使館/在 ベトナム大使館 /マレーシア大 使館/クアラル ンプール日本文 化センター	アニメに関するレクチャーおよ び作品上映を実施
3	倉斗 得夫 奈良 久司	茶道裏千家業躰 茶道裏千家業躰	カナダ	06.01.22～ 06.02.01	トロント日本文 化センター/在 カナダ大使館	茶道のデモンストレーションを 実施
4	佐々木 康人 杉原 芳彦	財団法人池坊華 道会 財団法人池坊華 道会	カナダ	06.01.23～ 06.02.03	トロント日本文 化センター/在 モントリオール 総領事館	池坊推薦の華道専門家による生 花に関するレクチャーおよびデ モンストレーションを実施

文化事業費

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
5	安達 以乍牟 榎本 千陽 中山 周	アダチ伝統木版 画技術保存財団 理事長 アダチ伝統木版 画技術保存財団 摺師 アダチ伝統木版 画技術保存財団 学芸員	米国	05.09.080 ～ 05.09.27	在シアトル総領 事館/在デン バー総領事館/ 在ポーランド総 領事館/在サン フランシスコ総 領事館	浮世絵版画のレクチャーおよび デモンストレーションを実施
6	渡邊 信一郎	アニメーション 監督	米国	06.02.07～ 06.02.15	在アトロイト総 領事館/在 ヒューストン総 領事館	アニメに関するレクチャーおよ び作品上映を実施
7	国方 みちる 中嶋 誠子 YOSHIKO MITCHELL	池坊シカゴ支部 師範 池坊シカゴ支部 師範 池坊セントルイ ス支部池坊師範	米国	06.03.09～ 06.06.16	在シカゴ総領事 館	池坊推薦の華道専門家による生 花のデモンストレーションを実 施
8	石川 光久	プロダクション IG代表取締役 社長	米国	06.03.19～ 06.03.26	在マイアミ総領 事館/在デン バー総領事館	アニメに関するレクチャーおよ び作品上映を実施
9	石田 洋二 佐伯 孝晴 松田 勇人 目黒 大作	大阪府警察天王 寺警察署 山口県剣道連盟 理事 奈良市教育委員 会指導主事 秋田県剣道連盟 会長	エルサルバド ル/ホンジュ ラス/グアテ マラ	05.11.30～ 05.12.14	在エルサルバド ル大使館/在ホ ンジュラス大使 館/在グアテマ ラ大使館	全日本剣道連盟推薦の剣道専門 家による剣道のデモンストレー ションおよび指導を実施
10	神谷 哲史 田中 将司	おりがみはうす 折紙専門家 イラストレー ター	エルサルバド ル/ニカラグ ア/パナマ/ト リニダード・ トバゴ共和国	06.01.26～ 06.02.10	在エルサルバド ル大使館/在ニ カラグア大使館 /在パナマ大使 館/在トリニ ダード・トバゴ 大使館	折紙のレクチャーおよびデモン ストレーションを実施
11	荒川 通 樹村 茂樹 奈須 和夫 渡邊 純一	全日本空手道連 盟相談役 大阪府空手道連 盟常任理事 三重県空手道連 盟副会長 有限会社八正道 代表取締役社長	コスタリカ/ コロンビア/ パラグアイ/ ベネズエラ	05.10.13～ 05.11.01	在コスタリカ大 使館/在コロン ビア大使館/在 パラグアイ大使 館/在ベネズエ ラ大使館	全日本空手道連盟推薦の空手専 門家による空手のデモンスト レーションおよび指導を実施

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
12	石黒 育	有限会社動画工房代表取締役	ウルグアイ/ コロンビア/ ブラジル	05.07.13～ 05.07.28	在ウルグアイ大使館/在コロンビア大使館/サンパウロ日本文化センター	アニメに関するレクチャーおよび作画ワークショップを実施
13	大木 敏幸 森 彩琳	草月会師範	デンマーク/ エストニア/ リトアニア	05.09.19～ 05.10.10	在デンマーク大使館/在エストニア大使館/在リトアニア大使館	生花のデモンストレーションおよびワークショップを実施
14	小嶋 新太 三戸 範之 猿渡 琢海 廣川 充志	日本体育大学教員 秋田大学教員 JRA日本中央競馬会 了徳寺学園	クロアチア/ セルビア・モンテネグロ/ ボスニア・ヘルツェゴビナ	05.11.27～ 05.12.10	在クロアチア大使館/在セルビア・モンテネグロ大使館/在ボスニア・ヘルツェゴビナ大使館	講道館推薦の柔道専門家による柔道のデモンストレーションおよび指導を実施
15	大山 隆盛 谷岡 史浩 竹内 龍作	近畿大学学生 近畿大学学生 アイシン精機株式会社	チェコ/ハンガリー/ブルガリア/トルコ	05.05.27～ 05.06.14	在チェコ大使館/ブタペスト事務所/在ブルガリア大使館/トルコ大使館/在イスタンブール総領事館	日本相撲連盟推薦の相撲専門家による相撲のレクチャーおよびデモンストレーションを実施
16	丸山 正雄	株式会社マッドハウス取締役	ハンガリー/ ルーマニア/ ロシア	06.02.01～ 06.02.14	ブタペスト事務所/在ルーマニア大使館/在ロシア大使館/在サンクト総領事館	アニメに関するレクチャーおよび作品上映を実施
17	山下 泰裕 他	東海大学教授	ロシア	05.06.27～ 05.07.05	極東国立総合大学/在ウラジオストック総領事館	東海大学と共催して、約80名の武道専門家による柔道・剣道・空手・合気道・薙刀・居合道のレクチャーおよびデモンストレーションを実施
18	大橋 瑛子 大橋 栄二	日本の風の会 日本の風の会	ロシア	05.09.02～ 05.09.14	在ハバロフスク総領事館/在ユジノサハリンスク総領事館	風のレクチャーおよびデモンストレーションを実施

文化事業費

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
19	安住 敏克 信川 貴洋 山本 英雄 山田 繁樹	宮城県中新田高校教諭 スバルヶ丘学園神戸第一高校教諭 全日本空手道連盟強化委員 -	イエメン/オマーン/サウジアラビア	05.05.08～ 05.05.22	在イエメン大使館/在オマーン大使館/在サウジアラビア大使館	全日本空手道連盟推薦の空手専門家による空手のデモンストラーションおよび指導を実施
20	佐藤 重徳 土屋 秀人 津山 捷泰 長友 憲一郎	沖縄剛柔流空手道協会支部事務局局長 有限会社ウエイスタッフ 全日本空手道連盟常任理事 大阪府空手道連盟常任理事	クウェート/バーレーン	06.02.16～ 05.02.24	在バーレーン大使館/在クウェート大使館	全日本空手道連盟推薦の空手専門家による空手のデモンストラーションおよび指導を実施
21	黛 円	黛まどか事務所所属俳人	バーレーン	06.04.02～ 06.04.07	在バーレーン大使館	シェイク・イブラヒム文化センター、バーレーン王国主催、同国皇太子後援事業である「詩の家」のオープニングセレモニーに併せて、詩の朗読会や他国参加詩人との詩のメドレーを実施
22	荒賀 正孝 大出 敏夫 奈須 和夫 野澤 幸洋	京都府空手道連盟事務局長 埼玉県空手道連盟技術本部長 三重県空手道連盟副会長 全日本空手道連盟糸東会副理事長	スーダン/エチオピア	05.11.16～ 05.11.25	在スーダン大使館/在エチオピア大使館	全日本空手道連盟推薦の空手専門家による空手のデモンストラーションおよび指導を実施
23	川和田 実 清水 裕正 津山 克典 横道 正明	日本空手協会 日本大学空手部監督 全日本空手道連盟常任理事 国土館大学空手道部女子監督	モロッコ/ガボン/セネガル	06.02.28～ 06.03.14	在モロッコ大使館/在ガボン大使館/在セネガル大使館	全日本空手道連盟推薦の空手専門家による空手のデモンストラーションおよび指導を実施

3. 催し等事業費 (2) 日本紹介のための文化人派遣 (助成)

海外において日本の文化人やスポーツ専門家が日本文化紹介のための講演、デモンストレーション、指導、セミナー、ワークショップなどを行なう事業に対し、助成を行なう（音楽・演劇・舞踊・民俗芸能など公演事業は除く）。

合計額 44,828,188円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	西田 豊子	NPO法人アートインAsibina 理事長	韓国	05.04.27～ 05.05.08	韓国芸術総合学 校演劇院	日本の児童青少年演劇に関する講座と、作品『ねこはしる』に関する作品研究講座、体験ワークショップの実施
2	住友 文彦	－	インドネシア	05.07.16～ 05.07.31	ルアンプル (JRT)	OKビデオは、2003年にインドネシアで初めて開催された国際ビデオフェスティバル。2回目となる今回は、インドネシア国立美術館にて、インドネシア国内および海外における現在のビデオアートの流れを紹介。新進の作家に展示とコラボレーションの機会を与え、また日常生活で増加し続ける映像に対し、観客がビデオアートを通して批判的な理解力を高めることを目的とした。主催者であるルアンプルから招へいを受けたアーティストトークとレクチャーでは、日本から1名の作家が彼の作品について、日本を含めたアジアのビデオアートの最近の動向について講義し、質疑応答、ディスカッションを行なった
3	飯尾 千絵	－	インドネシア	05.09.14～ 05.09.28	インドネシアバ ンドン市役所	絵本の読み聞かせと絵の制作による子供達の心の支援。2005年2月、バンドン市で豪雨によりゴミの山が崩壊し105人が死亡40人が行方不明になった事件が背景
4	松本 實	有限会社ウエスト企画専務	ラオス	06.10.23～ 05.10.28	在ラオス大使館	日本・ラオス外交関係設立50周年の機会にラオス国民に対して日本の伝統衣装である和服を紹介することによって、日本の芸術、習慣、文化に対する理解を深め、日本への親近感を高める。またラオスの民族衣装と競演も行う
5	福島 光加	－	インド	05.11.27～ 05.12.04	いけばなインターナショナル/ デリーチャプター	在インド大使館およびニューデリー事務所共催の日本文化月間において、生け花愛好家および一般インド人に対して生け花デモンストレーションおよび、ワークショップを実施

文化事業費

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
6	阿部 悦子	NPO法人アジア文化交流協会 理事長	パキスタン	05.03.15～ 05.03.22	在パキスタン大使館/パキスタン教育省	イスラマバード、ラホールの大 使公邸、公共機関等において、 茶道、華道、書道の実演と指導、 展示ほか日本の紹介行事を実施 した。同時にパキスタン・日本 の児童による交流絵画展を開催
7	木村 正彦	盆栽作家	オーストラリア	05.08.15～ 05.08.26	オーストラリア 盆栽協会	シドニー盆栽会が実施するオー ストラリア盆栽協会盆栽セミ ナー大会においてデモンスト レーション、ワークショップ、 技術指導を行なった
8	天童 大人	日本ペンクラブ /詩人	ニュージーラ ンド	05.11.01～ 05.11.08	詩学教育基金	外国からの詩人28人と11人の ニュージーランドの詩人により ウェリントン市内で展開された 国際詩祭。テーマは国際平和と 調和
9	竹中 健司	-	米国	06.03.10～ 06.03.21	Edinboro大学	日本の伝統木版画の制作技術・ 技法・道具について技術的指導 を行なった。対象者は大学教 授、芸術家、学術家、学生など。 浮世絵木版をはじめとする日本 独自の印刷文化「水彩多色木版」 について紹介
10	高嶺 剛	-	米国	06.03.22～ 06.03.31	ANTHLOGY FILM ARCIVES	映画監督ジョナス・メカスが主 宰するアメリカ・ニューヨーク のAnthology Film Archive にて高嶺剛（映画監督）の全作 品を紹介する上映会。作品上映 と監督本人およびコーディネー タによるライブ上映、ティーチ インなどを実施。Anthology上 映後、「キネマ倶楽部第六回 （イェール大学）」ノースキャロ ライナ大学での巡回上映
11	石戸 謙一	珠算学校経営者	グアテマラ	05.11.20～ 05.11.27	石戸・キーラそ ろばんスクール	第8回グアテマラ珠算大会の運 営指導、珠算指導者講習の開催、 珠算教育文化に関するマスコミ の取材
12	田村 さと子	帝京大学文学部 国際文化学科教 授	ドミニカ	05.04.23～ 05.05.02	サントドミン ゴ・ブックフェ ア2005常任委員 会	日本の現代詩（長歌・短歌・俳 句の歴史と作品）および現代詩 （第二次大戦後の『荒地』以降の 作品）について講演を行なった。 また招待を受けた世界各国の詩 人たちによる朗読会で自作詩を 日本語で朗読した（スペイン語 訳はスペイン語を母語とする詩 人によって朗読された）

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
13	岩切 裕子	社団法人日本版画協会運営委員	メキシコ	05.08.01～ 05.08.13	メキシコ・グアナファト大学	2005年「グアナファト日本版画フェスティバル」文化活動の一環としてグアナファト大学主催により下記事業が行なわれた。 ①メキシコ-日本inグアナファト現代版画交流展を開催②各種版画技法による、実製作者による講演とデモンストレーションおよびワークショップを実施③小林敬生-木口木版画展をアロンティガ・デ・グラナディート美術館において開催
14	稲垣 進一	国際浮世絵学会常任理事	メキシコ	05.08.18～ 05.09.03	メキシコ国立図書館	20世紀初頭のメキシコ詩人タブラーダが収集した浮世絵コレクションを保有するメキシコ国立図書館の人達に浮世絵に関する知識を伝えた。また、ジャポノロジストおよびキュレーターのための講義を行なった
15	イネス サンミゲル	帝京大学文学部国際文化学科教授	コロンビア	05.10.27～ 05.11.10	南西コロンビア出版会/Valle大学人文学部	南西コロンビアの出版社とValle大学教授が協力して読書と出版の奨励を図り展示会を毎年開催。本展示会の主要なプログラムは以下の4項目 ①日本とその文化：日本文化の豊かさと日本における出版の質と量の両面の呈示②地方文化：南西コロンビアの経済的文化的発展とその文化的アイデンティティ③Valle大学創立60周年④詩人かつ作家であるホルヘイサアクスの関する国際セミナー開催
16	白石 かずこ	詩人	チリ	05.10.15～ 05.10.27	チリ世界詩人祭委員会	世界各地から詩人を招き、詩のレクチャー・ワークショップ等を行なった
17	笹川 堯	財団法人全日本空手道連盟会長	ブラジル	05.04.17～ 05.04.28	ブラジルパラ州社会振興本部	ブラジルパラナ州スポーツ文化教育庁およびブラジル日本空手協会の協力のもとで指導を行なった

文化事業費

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
18	時友 尚子	染色家	アイスランド /エストニア/ リトアニア	05.09.19～ 05.09.29	アイスランドテキスタイル協会	日本の染めの伝統技法と変遷、発展の過程のサンプルを示し実演も交えて講義。様々な染色法を解説、それらの技法をミックスして表現の幅を広げ、深味を出す染法も講義、実演した。多様な絞り法を指導、併せて草木染法の種類、色だし法を講義し絞りの布を用いた草木染を体験させた
19	中嶋 貞治	新宿割烹中嶋代表取締役	イタリア	05.05.26～ 05.06.03	イタリア日本文化協会	「式包丁」を雅楽に合わせて披露し、伝統ある日本料理の技術の奥行きと美しさを見せた
20	山崎 和樹	染色家	イタリア	05.09.23～ 05.10.09	アルテ・ジャポネ	着物を中心とした染色作品の展示、絞り染め技法および草木染めのセミナーを行なった。茶道デモンストレーション、日本舞踊実演
21	原田 広美	－	イタリア/英国/オーストリア/フランス	05.10.04～ 05.11.01	ケント大学/シチリアダンス協会	第1回ロンドン舞踏フェスティバルとなった「DAIWA International Butoh Festival」の視察。また、その一環としてケント大学でのレクチャー、およびシチリア・ダンス協会における「国際舞踏アカデミー」の開設を記念するためにパレルモ大学と提携して行なわれた「Butoh and New Butohセミナー」でレクチャーを行なった。平行して、次世代の舞踏の形成に貢献するためのワークショップをロンドン、パリ、ウィーンで実施
22	松永 光	財団法人日本武道館理事長	イタリア	05.11.23～ 05.11.29	イタリア・ナポリ・ジャパンウィーク実行委員会	日本文化の紹介と、日本と開催国との友好親善・相互理解を目的に、イタリア共和国のナポリ市で開催された「第30回ジャパンウィーク2005年イタリア・ナポリ」に、日本武道代表団を編成・派遣した。日本武道の真髄を披露するとともに(演武会開催)、ナポリ市を対象にワークショップ(武道体験会)や地元の武道団体等との交流指導稽古等を行ない武道を通じて国際親善に寄与

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
23	足立 晋作	株式会社名鉄 エージェンシー 情報開発事業局 部長	英国	05.07.05～ 05.07.12	大英博物館	からくり人形師九代目玉屋庄兵衛の「茶運び人形」が、大英博物館に収蔵されることから、寄贈セレモニー・基調講演「自分でつくれるからくり」のワークショップを実施
24	中島 勝乃利	陶芸家	オーストリア	05.07.07～ 05.08.07	クロンシュタット地区/オーストリアインスブルック市文化部	オーストリア政府、チロル州、インスブルック市文化部の協力により、インスブルック市において開催された第一回目の国際陶芸シンポジウム。日本-EU年公式事業としてオーストリアにて登録。日本、イタリア、ロシア、ハンガリーなど7カ国より著名な作家10名を招待、7名の作家が参加。現地製作、ワークショップおよび作品展示を行ない、陶芸への認識を深め、社会における芸術の建設的な立場を築いた。現地の作家のみならず青少年および一般観客のワークショップ参加や、展覧会においてはアジアからの唯一の参加国である日本の作家たちが、伝統的な陶芸技術を背景とした先駆的な日本の現代陶芸を紹介
25	もとみや かをる	-	オーストリア	05.10.28～ 05.12.02	在オーストリア大使館/MAK (ウィーン応用美術館)	修復再生の作品を発表している現代美術作家が、2005年11月、オーストリアのウィーン(応用美術館/オーストリア博物館協会)とチェコ共和国のプラハ(国際文化交流センター)において、日本の伝統的な修復技法「金継ぎ」とその特殊な哲学、および背景としての茶道など日本文化を紹介する講演や実演を行なった。また日本-EU文化交流年の一環として、11月にウィーン(ポルシア宮ギャラリー)で行なわれた日本現代美術展で、現代美術に応用した金継ぎの作例を紹介

文化事業費

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
26	増山 士郎	-	オーストリア	06.02.11~ 06.03.01	MAK現代美術館	オーストリア有数の優れた美術館で、様々なジャンルのアーティストによるMakNiteというイベントでの出展。今回Makの招待を受け、ドイツ滞在中に制作した「Parky、Party」を出品。大掛かりなセットを導入しての観客参加型パフォーマンスとなった
27	鈴木 春朝	社団法人全日本書道連盟理事/書道家	キプロス/ギリシャ/ドイツ/エストニア/ハンガリー	05.04.27~ 05.05.16	在ハンガリー大使館/在フランクフルト総領事館	日本における書の歴史、文字を題材として、毛筆と墨を使い、造形および精神的芸術としての書を理解してもらおうように漢字・かな作品のデモンストレーションおよび参加者のワークショップを行なった
28	春山 勇 藤沢 一就	- -	キプロス/ギリシャ/ドイツ	05.09.28~ 05.10.11	在ギリシア大使館/キプロス囲碁協会	ギリシャ、キプロス、ドイツへの囲碁文化普及促進
29	所 鳳弘	白鳳古式くみひも道主宰	スイス/ドイツ/フランス	05.10.14~ 05.11.01	在ストラスブール総領事館/アルザス日本学研究所	10月下旬に在ストラスブール総領事館、欧州議会等が日-EU市民交流年の目玉事業として、上記展示会を欧州議会他で開催。本展示会に参加し、着物、組紐、染色等に関する講義・デモンストレーションを行なった。この前後に、ドイツ（ケルン）、スイス（バーゼル）およびフランスの他都市（ミュールーズ/メッス/ブザンソン等）でも講演、ワークショップを行なった

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
30	高見 義雄	-	スイス/フランス	05.11.10～ 05.11.20	サークル・スイス・ジャポン	フランス（リヨン/グルノーブル/シャンベリー）およびスイス（ジュネーブ）の各大学において、アニメ講演会を実施した。講演では、日本のアニメと他の相違、日本のアニメの動向、日本の各代表アニメ作品の製作過程、特殊技術、作品の特徴等について分析的に説明した。また、フランス、スイスの若年層の日本のアニメに対する関心の中身についても適宜把握し、質疑応答の中で有益なアドバイスをを行った。講演は日本語で行ないフランス語通訳をつけた。講演時間は1時間半、質疑応答を30分程度行った。講演場所は、リヨン大学、グルノーブル大学、サボア大学、ジュネーブ大学の講堂（約300人～500人収容）を利用。本件講演会開催にあたっては、リヨン出張駐在韓事務所およびジュネーブ総領事館が協力
31	宮島 登	折紙専門家	スペイン	05.05.11～ 05.05.15	スペイン折り紙協会	ヨーロッパ全土およびアメリカ等から例年100名以上の愛好家に参加する4日間の国際コンベンションを通じて100を超える折り紙教室が行なわれた。申請者は海外からの招待作家として参加し、3～4作品の講習と作品の展示を現地にて行った
32	山井 教雄	-	スペイン	05.09.20～ 05.09.30	スペインレイダ市	スペインカタロニア州レイダ市で2005年9月15日から10月15日にかけて行なわれたピエンナーレのゲスト国漫画家として参加。FECO JAPAN会員作品の展覧会を開くとともにコンファレンスにおいて広く一般に日本独自の漫画文化を紹介

文化事業費

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
33	ミタニ タツヤ	-	スペイン	05.10.04～ 05.10.22	カーサ・アジア	「現代まで継承された日西両国の伝統文化を交差させて新たな創造力の獲得、またそれによって両国民に伝統継続の意志力を呼び起こす」ことを交流の芯柱に、今年もバルセロナにて和紙版画展覧会を開き和紙漉き、和紙刷り木版画、和紙と織物の講演等を行ない、自国の文化を伝えると同時に異文化理解を図った。アジア・フェスティバル(Casa ASIA主催)等、複数
34	たなか 牧子	カジュ・アート・スペース主宰/染色家	ドイツ	05.07.23～ 05.08.07	トラーベ・アート・フェスティバル2005実行委員会	ドイツ、ストーンマーン郡リュウベック市において開催される「Trave Art Festival 2005」に鎌倉市の芸術非営利組織「カジュ・アート・スペース」より7人の美術家が参加。現地の芸術家との交流を深めることを目的とする講演会、ワークショップ、展示などを行ない、それぞれの分野における日本の文化を紹介
35	風 繩子	-	ドイツ	05.08.09～ 05.09.05	ハンブルク美術工芸博物館	書の講義と実技指導・第7回、主催ハンブルグ美術工芸博物館 1)日本の書-村木享子の書道講座 東洋の文字文化について講義し、書の実技指導を行なった 2)村木享子による大字揮毫(中筆から巨大筆まで使用)は、書藝術の生成プロセスを最も端的にヨーロッパ市民に伝達主催独日協会

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
36	山崎 朋子	-	ドイツ	05.10.17～ 05.10.28	ケルン日本文化 会館	ケルン日本文化会館、ベルリンの森鷗外記念館、デュッセルドルフ、ボーフムおよびミュンヘンの3大学（ドイツ5カ所）にて講演・朗読・ディスカッション・を行なった。「サンダカン八番娼館」とその時代背景および大正時代に貧困にあえいで天草地方から南方に出稼ぎに出た「からゆきさん」の実態を女性史の観点から解説し、執筆の動機について語ることが講演の主な内容であった。ディスカッションにおいては、ドイツの戦争責任のとり方、女性学、移民労働者への対応など、特にドイツの若い世代との意見交換の機会となった。拙著を映画化した作品『サンダカン八番娼館・望郷』も上映
37	武田 洋平	東海大学平和戦略国際研究所助教授	ドイツ/ウクライナ	06.01.04～ 06.01.15	Dream Come True Foundation/ドイツフイフタツハ観光協会	日本との文化交流が疎らな辺境国の人々に日本の民衆文化を伝え、世界平和構築の一助にした「日本文化週間」を開催。日本映画の上映、日本の音楽を歌・ヴァイオリン・ピアノで紹介、日本および日本文化に関する文化講演会、日本に関する書籍の展示、ワークショップを通じて、現地の人たちとの交流、日本の家庭料理を紹介
38	鈴木 光司	作家	ドイツ	06.03.17～ 06.03.24	パリ日本文化会館/ケルン日本文化会館/ローマ日本文化会館	ケルン日本文化会館ならびにミュンヘン（ミュンヘン独日協会とケルン文化会館の共催）において『らせん』の朗読会を行ない、パリ日本文化会館とローマ文化会館においては講演会も開催。パリの講演会には映画『リング』上映も実施
39	加藤 史子	桐華流日本きもの指導者協会副理事長	ノルウェー	05.05.20～ 05.05.25	ノルウェー大使館	日本文化と深くかかわる形としての「きもの」をショー形式で紹介。形の中に込められた「日本の心のあり方」も伝えた

文化事業費

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
40	中村 美知生	京都市立志野高等学校教諭	ノルウェー	05.10.01～ 05.10.09	アスケル市芸術協会	日本・ノルウェー国交樹立100周年記念事業の一環で、日本文化紹介のために「漆芸・木版画・銅版画・謄写版画・書」によるデモンストレーションと5人の作品展示を実施し、日本芸術の現況を紹介
41	藤原 智子	記録映画監督	フランス	05.12.05～ 05.12.12	パリ日本文化会館	本年度国際交流基金のフィルム・ライブラリーが購入した藤原智子監督『ベアテの贈りもの』の上映会および同監督による講演会をパリ文化会館にて2回開催
42	小川 静枝	詩人	ベルギー	05.08.31～ 05.09.12	在ベルギー大使館広報文化センター	ベルギーで2年に一度開催される世界大会。2005年度は設立50周年特別行事が企画され、各国を代表する世界中の詩人が集まり、詩を通して各国の文化を紹介する催し。今年度24回大会は、50周年の特別事業を企画した事もあり、前回は上回る出席者があった
43	カタルジーナ・スヴェルツカ	－	ポルトガル	05.10.19～ 05.10.21	在ポルトガル大使館	オランダ、ライデン大学の日本食文化研究者であるカタルジーナ・スヴェルツカをポルトガルに招き、同テーマに関する講演を通じて当地における日本食、日本文化全般に対する更なる理解の浸透を図った
44	新井 康弘	財団法人少林寺拳法連盟	ウクライナ/ロシア	05.06.30～ 05.07.13	少林寺憲法モスクワ支部	少林寺拳法の一般公開デモンストレーション、会員に対する技法・理念の指導
45	香取 琴水	－	スロバキア	05.11.20～ 05.11.27	在スロバキア大使館	「日-EU市民交流年」のイベントとして、水墨画の展示場において、水墨画の師範が参加し、講演、実演、指導を行なった(展示作品数は約100点)
46	堀江 恭子	美術評論家	チェコ	05.06.13～ 05.06.23	チェコ国立歴史博物館/在チェコ大使館	日本-EU市民交流年の公認行事として、在チェコ大使館の協力を得て、日本の伝統芸術である書道・日本画の展示、茶道のデモンストレーション等を実施

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
47	宮田 利男	日本将棋連盟専門棋士七段	チェコ	05.07.12～ 05.07.23	ヨーロッパ将棋連盟	ヨーロッパ将棋界最大のイベント「ヨーロッパ将棋選手権大会」に将棋専門棋士を派遣し、日本の伝統文化のひとつである将棋を外国に紹介した。初の東欧への派遣
48	南 宏	熊本現代美術館館長	チェコ	05.09.02～ 05.09.09	プラハ国立ギャラリー	2003年よりチェコ共和国の首都プラハで始まった国際美術展の第2回目の今回、日本人として初めてビエンナーレ展キュレーターに申請者が選ばれ、日本人アーティストも初めての参加となった。他2人のアーティストが講師として日本の現代文化を語るセミナーを開催
49	堀 武昭	財団法人日本ペンクラブ常務理事	チェコ	05.11.15～ 05.11.21	チェコ日本人クラブ/チェコ・日本友好協会	現在活躍中の作家をプラハに派遣し、現代日本文学についてのワークショップを開催。文学を通じ文化交流を図った。現地では日本人クラブカレル大学の協力を得て、講演会、座談会およびワークショップ形式で文学交流を行なった。講演会はチェコの日本人会のメンバーを対象に「私が作家になった理由」をテーマに実施。座談会はチェコの作家と日本の作家が「文学が国際化に果たす役割」をテーマに討論した。ワークショップはカレル大学の日本文学専攻の学生を対象に日本人作家が自著一冊を選びそれについて解説する方法をとり質疑応答を中心に進めた
50	武安 義光	財団法人全日本剣道連盟会長	ハンガリー/ ルーマニア/ トルコ	05.07.14～ 05.07.26	ハンガリー剣道連盟/アンカラ剣道クラブ	ハンガリー共和国、ルーマニアとともに講習会・稽古会を実施し、正しい剣道・居合道の定着を図った。初心者の多いトルコ共和国アンカラ市では、演武会、講習会を開催し、普及を図った
51	観世 榮夫	能楽師	ポーランド	05.06.19～ 05.06.26	ワルシャワ演劇大学	国際演劇大学祭においてヨーロッパ各国の演劇大学で行なわれている演劇活動の発表、シンポジウムやワークショップを行なった

文化事業費

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
52	橋本 白道	陶芸家	リトアニア	05.06.10～ 05.09.10	リトアニア NPO大地のか けら	リトアニア、アメリカ、エスト ニア、ノルウェーなどからの参 加者とともに穴窯焼成のワーク ショップを行なった。できた焼 物に日本料理を盛り付けて総合 的な日本文化を紹介
53	河内 國平	美術刀剣刀匠	リトアニア	05.06.15～ 05.06.20	リトアニア共和 国カウナス市	リトアニア国立ヴィタウタス戦 争博物館の前庭に日本刀の鍛冶 場と演武場を設営し、鍛刀実演 と解説、武道家による居合斬の デモンストレーションを行なっ た。博物館内、および会場の各 所に現地の花を用いて生け花展 示を行なった
54	清水 柳一	演出家	ロシア	05.05.14～ 05.05.29	国立オムスク大 学出版会/ノボ シビスク北海道 文化センター	西シベリアの大都市オムスク、 ノボシビルスクの大学で日本文 学の講演会を行なった。『銀河 鉄道之夜』をロシア語と日本語 で朗読した。宮沢賢治の生涯、 作品についての解説を行ない、 文化・思想・文学・演劇・アニメな どの面において作家を位置付け た
55	遠藤 清光	富士地区鳶工業 連合会会長	ロシア	05.07.05～ 05.07.11	日本・ロシア友 好協会サンペテ ルブルグ	日ロ修好150周年を記念した石 碑が日ロ両国で建立されるにあ たり、日本文化の粋である鳶職 人のはしご乗りをロシアで披露
56	江原 吉博	－	ロシア	06.03.12～ 06.03.24	オムスク国立大 学	ロシア国立オムスク大学におけ る、現代日本文化および文学紹 介のためのレクチャー。村上春 樹の作品を取り上げ、日本にお ける人気の秘密と時代性との関 係を考察。ロシアの若者たちに 好まれる理由についても併せて 考えた。作品の背景となった日 本の社会を反映する映像作品や ドキュメントも映写。日本の時 代風俗紹介も併せて行なった
57	山本 清右衛門	財団法人現代人 形劇センター評 議員	オマーン	05.11.30～ 05.12.07	在オマーン大使 館	日本の「からくり人形」の伝統 文化について、そのアイデア、 仕組みを人形の実演・解説を手 作り教室によって紹介。オマー ン日本友好週間（テーマ：環境 と技術）の参加プログラムとし て実施（主催：在オマーン大使 館/オマーン日本友好協会）

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
58	石本 寛治	日本トルコ民間交流協会会長	トルコ	05.05.31～ 05.06.08	在トルコ大使館	茶道パフォーマンスと抹茶お手前。折紙作品展示と折紙パフォーマンス、折紙教室。木目込み人形作品展示と製作パフォーマンス、貝根付製作教室。生け花展示と体験教室。着物ショーと着付け体験教室。書道作品展示、デモンストレーション、体験教室
59	竹林 広美	和服リメイク作家（ファッションデザイナー）代表	トルコ	05.08.03～ 05.08.17	イスタンブール文化観光局	国立イスタンブール美術ギャラリーにて、着物と着物リメイク作品の展示および着付けデモンストレーションを行ない、今現在の日本衣文化を紹介
60	堀口 弘治	社団法人日本将棋連盟	トルコ	05.11.23～ 05.11.29	在トルコ大使館	将棋専門棋士を海外に派遣し、日本の伝統文化のひとつである将棋を外国に紹介したトルコ共和国における初の実施事業。具体的には在トルコ大使館が毎年秋に日本文化の紹介事業を主催していたが、その一環として将棋専門棋士が訪れ、現地の人達に「将棋」を紹介し、普及に努めた。実施内容は、将棋の入門講座、指導対局、現地日本人への将棋の指導

4. 催し等事業費（日中交流特別事業）

(1)21世紀日中交流特別事業（催し・主催）

日中双方の社会において、広い範囲で両国市民の新たな相互認識や友好関係を促進するため、講演会・交流会などの催しを実施する。

合計額 3,094,863円

	事業名	都市	会場	期間	事業内容
1	『新中国に貢献した日本人たちⅡ』出版記念会、報告会	北京 天津	北京外国語大学/人民大学 南開大学	05.09.20～ 05.09.24	第二次大戦後の中国において、社会的インフラ整備、技術指導、人材教育等の分野で活躍した日本人を、彼らと深いかわりをもった中国人の文章により紹介した書籍『新中国に貢献した日本人』の第二巻出版を記念し、①戦後の日中交流を支えてきた両国の関係者（中国側：唐家セン・国務委員を含む）が一堂に会し、絆を確認する場としての出版記念会を実施すると同時に、②書籍で取り上げられている日本人6名と中国側関係者を報告者に据えた講演会を、北京市内、天津市内の計3カ所で開催し、中国国内であまり知られていない、これら日本人の存在・活動を知らしめた

文化事業費

	事業名	都市	会場	期間	事業内容
2	在日中国留学生ネットワーク	東京	国際交流基金本部会議室/東京国際交流館	05.10.01～06.03.31	日本にいる中国留学生が日中交流に貢献できるような仕組み作りを試みた。具体的に留学生の意見を事業に反映できるように留学生と意見交換を行ったり、中国春節に日本人と留学生が一緒に餃子を作ったり、相互理解を深めた
3	坂中英徳講演会	東京	国際交流基金国際会議場	05.10.27	出入国管理行政一筋の道を歩んできた坂中英徳（前東京入国管理局長）が在日中国人と日本人が共生していく道筋について、自らの行政官としての体験から得られたことを語る講演会を実施

4. 催し等事業費（日中交流特別事業）	(2)21世紀日中交流特別事業（催し・助成）
---------------------	------------------------

日中双方の社会において、広い範囲での両国市民の新たな相互認識や友好関係を促進するため、講演会・交流会などの催しに対して助成する。

合計額 1,638,392円

	事業名	助成団体	都市	期間	事業内容
1	視覚障害者訪日研修	天津市視覚障害者日本語訓練学校	京都/兵庫/大阪/神奈川/東京/群馬/埼玉/岩手	05.10.01～05.10.11	天津市視覚障害者日本語訓練学校に所属する日本語能力試験2級以上の生徒4名と引率者2名による対日理解促進を目的とした訪日研修事業。滞在中、日本に関する一般情報について理解を深めると同時に、日本の身障者に対する福祉政策について知識を得た
2	卓球青少年交流	日本中国友好協会	中国北京市	06.03.31～06.04.04	日中国交正常化前の1956年に東京で開催された世界卓球選手権大会に参加した中国選手と日本選手との間の交流が今年で50周年となることを記念し、当時の選手たちが北京において交流試合を実施した。さらにこの卓球を通じた交流を次代に繋げるため、日本のトップクラスの小学生選手も訪中し、同世代選手との交流を行なった

5. 文化資料事業費（日中交流特別事業）

(1)21世紀日中交流特別事業（文化資料）

日中双方の社会において、広い範囲で両国市民の新たな相互認識や友好関係を促進するため、文献資料およびデジタル・映像メディア等を作成・編さん・出版・配布する。

合計額 5,841,821円

	番組名	放映日	回数	事業内容
1	中国語オピニオンサイト	05.11.11～ 06.03.31	週1回更新、 21回掲載	共同通信社が作る日本で唯一の中国語ニュースサイトである「共同網」の中に「中国語オピニオンサイト-心心相印-」を開設。日本の各界の識者や知日外国人が各自選んだテーマに基づき、中国の一般市民に日本のありのままの姿や日本人のものの考え方などをサイトで紹介
2	日本音楽紹介ラジオ番組	06.01.01～ 06.12.31	全52回放送 予定	レーベルを問わず日本の流行音楽（以下J-pop）の音楽素材の提供が可能なPROMICと国際交流基金の共同事業。J-popと日本の流行情報を紹介するラジオ番組を制作し、日本の最新文化に関する情報に接する機会が少ない中国国内地方都市の放送局に無償提供して放送。重慶市、成都市、山東省、雲南省、無錫市、寧波市、湖南省、江西省で放送
3	日本紹介TV番組『日中夢工房』	06.03.29放送	60分番組	日本側スタッフ（有限会社メディア戦略研究所）が中国国内での取材・ロケを行ない、中国側制作スタッフ（五州伝播中心）が日本国内での取材・ロケを担当。日中の若者の現状を比較紹介した。番組は東京と北京をインターネット回線で結び、両国の識者が討論しながら進行。日中両国のテレビで放送され、放送された番組はDVD化し、日中友好団体や国際交流基金の国内外の事務所に配布